

# リボンの会 会員の声



リボンの会のホームページ・トップ > リボンの会とは > 会員の声

## 交流会に参加して イニシャル K. W さん

乳がん治療中に「骨髄異形成症候群」という病気になり、戸惑いと不安で、何をどうしたらよいのかがわからずにいた時、乳がん患者会から「リボンの会」を紹介されました。話を聞いていただき、自分で病院と治療方法を選択することができました。

治療法は「臍帯血移植」を選びました。治療は苦しい時期もありました。4年間の乳がんの治療途中で別の新しい病気に向き合うこととなり、自分は何をすればいいのか、どうしたいのかを考えました。おのずと「生きる」ことを選びました。「生きる」なら楽しく、幸せに「生きたい」と思い、「早く病院から出よう!」と思いました。気持ちと体力がついていかず、苦しくもどかしい時期もありましたが、その年の10月に入院、翌年1月に退院。同年7月には社会復帰。6月の交流会に初めて参加し、ドキドキしましたが、スタッフの多さと明るさ、細やかな気配りに驚き、感動で心が休まる場所でした。

自分と同じような血液の病気の方との交流会は初めてで深刻で地味な暗いイメージがありましたが、体験発表や顧問の衛藤先生への質問、分科会、と同じ患者同士、気兼ねせず話せる・聞ける・共感できることで大きな意義のある時間でした。参加されたご家族、そして病気とは思えないくらい元気な声でいろいろ意見を言い合い、聞いたりする患者さん達とにぎやかに交流できたことがびっくりで、参加して良かったと思えました。ご自身も患者やご家族であるスタッフの皆様が会を支援し、労力を惜しまず、協力されていることも大きな要因だと思います。病気への不安や辛い気持ちが軽くなり、「自分だけではなかった」という安堵の気持ちで帰路に就くことができました。

2015.7.



## リボンの会 事務局本部

公式サイトURL: <http://ribonnokai.info/>

E-mail: <http://ribonnokai.info/mail.html>